

平成 29 年 5 月 19 日

投資者の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)」の基準価額の下落について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

足許の市場動向と「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)」の基準価額への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ 「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)」の基準価額

| コース名         | 平成 29 年<br>5 月 18 日<br>基準価額(円) | 平成 29 年<br>5 月 19 日<br>基準価額(円) | 騰落幅<br>(円) | 騰落率<br>(%) |
|--------------|--------------------------------|--------------------------------|------------|------------|
| ツインα・コース     | 3,642                          | 3,181                          | ▲461       | ▲12.66     |
| シングルα・米ドルコース | 4,885                          | 4,261                          | ▲624       | ▲12.77     |

(騰落率については小数点第 3 位四捨五入)

◆ 市況情報

|                                      | 平成 29 年<br>5 月 17 日 | 平成 29 年<br>5 月 18 日 | 騰落率(%) |
|--------------------------------------|---------------------|---------------------|--------|
| iシェアーズ MSCI ブラジル・キャプト<br>ETF(米ドルベース) | 39.14               | 32.75               | ▲16.33 |

海外の市場については基準価額への反映を考慮し、5 月 17 日と 5 月 18 日と比較しています。

(小数点第 3 位四捨五入)

|            | 平成 29 年<br>5 月 17 日 | 平成 29 年<br>5 月 18 日 | 騰落率(%) |
|------------|---------------------|---------------------|--------|
| 米ドル(対円レート) | 111.30              | 111.11              | ▲ 0.18 |

海外の市場については基準価額への反映を考慮し、5 月 17 日と 5 月 18 日と比較しています。

為替レートは、WMロイター社が発表するロンドン時間午後 4 時のレート

(小数点第 3 位四捨五入)

出所:ブルームバーグ

## ◆ 足許の市場動向

ブラジルでは、5月18日にテメル大統領が汚職に関わった前下院議長に対し「口止め料」支払いを指示したと報じられ、大統領の辞任・弾劾が意識され、経済および財政再建が遅れるとの懸念が強まったことなどから、ブラジル株式と通貨ブラジルレアルが急落しました。

ファンドでは、米ドル建てのiシェアーズMSCIブラジル・キャップETFを投資対象としており、ブラジル株式に加えてブラジルレアルが米ドルに対し大幅に下落したことも、基準価額の下落要因となりました。

## ◆ 今後の見通し

ブラジル株式市場は、政治的混乱や外部要因を背景に当面変動性の高い展開となることが想定されますが、現時点での株価の急落は短期的なリスク回避の動きによる影響であるとみられ、市場の過度なリスク回避姿勢が和らぐ局面では、落ち着きを取り戻すとみています。2017年通年の成長率が輸出や消費を中心に小幅ながらも3年ぶりのプラスに転じることが見込まれ、物価安定の下でのブラジル中央銀行の利下げが株式市場をサポートするものと期待されます。中長期的な視点では、ブラジル経済において若年層の構成比の高い人口構造を背景とした国内消費の伸びやインフラ投資の拡大などを通じた内需主導の経済成長が見込まれ、政局の安定、財政再建などを実現することによって、ブラジル株式市場も安定的に推移していくものとみています。

ブラジルレアル(対米ドルレート)は、テメル大統領を巻き込んだ政治的混乱を受けて、テメル政権が行おうとしている年金改革をはじめとする一連の改革への期待が剥落し、当面不安定な相場展開が想定されます。また、米国での追加利上げが予想される一方、ブラジルで大幅な利下げが行われていることもブラジルレアルの下押し要因となっています。しかし、ブラジルのインフレ率が落ち着きつつある中で行われた大幅利下げは、同国経済にとってプラス要因になると考えられます。さらに、昨日ブラジル中央銀行はドル売りレアル買いの通貨スワップを行っていますが、今後も通貨防衛に動くことが予想され、一定の下支えが期待されます。以上のことから、ブラジルレアルのもう一段の大幅下落は想定し難く、不安定ながらも底堅い動きになると予想しています。米ドル(対円レート)については、トランプ米大統領の政権運営の行方を睨みながら、不安定な相場展開が見込まれます。ただし、年内にFRB(米連邦準備制度理事会)により複数回の利上げが実施される可能性が高く、米金融政策は利上げ方向で進むことには変わりはないとみており、日本で日銀が緩和的な金融政策を維持する見通しであることから、日米の金融政策の方向性に違いがみられ、中期的には円安米ドル高基調に変化はないと思われま

以上

当資料はT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

## 投資信託のお申込みに際してのご留意事項

### 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

### 投資信託に係る費用について

◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 4.32%(税込)

信託財産留保額・・・上限 2.50%

◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 1.998%(税込)

その他費用・手数料・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

\*上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

\*詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。

### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。

- iShares®(iシェアーズ®)はブラックロックの登録商標です。ブラックロックは「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)ツインα・コース/シングルα・米ドルコース」について出資、発行、保証、販売及び販売の促進をするものではありません。またブラックロックは、「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)ツインα・コース/シングルα・米ドルコース」への投資についてなんら意見を表明、あるいは保証するものではなく、ファンドにかかる業務、営業、トレーディング及び販売に関して、一切責任を負うものではありません。